

# 会 議 録

## 第 1 3 回定例会

開会 令和3年10月5日

## 教育委員会会議録

1 開 会 令和3年10月5日 午後2時30分

2 閉 会 令和3年10月5日 午後3時55分

### 3 教育委員会出席者

|     |        |
|-----|--------|
| 教育長 | 柚 浩一   |
| 委 員 | 河口 雅子  |
| 委 員 | 菊池 健次  |
| 委 員 | 島 隆寛   |
| 委 員 | 三木 千佳子 |
| 委 員 | 河野 暁   |

### 4 教育長及び委員以外の出席者

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 副 教 育 長         | 臼杵 一浩 |
| 教 育 次 長         | 藤本 和史 |
| 教 育 次 長         | 藤田 完  |
| 教 育 創 生 課 長     | 重田 英紀 |
| 教 職 員 課 長       | 今田 潤  |
| 教 育 政 策 課 長     | 高崎 美穂 |
| 教 育 政 策 課 副 課 長 | 高木 和久 |

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

副教育長 9月定例県議会における質疑応答の概要について報告する。

〈質 疑〉

特になし。

[議 事]

教育長 議事に入ることを告げる。

《報告事項1 県立学校における教育活動等に係る感染拡大防止対策について》

教育長 報告を求める。

教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：競技の内容によるのか、また部活動の中のどのような行動が感染リスクが高いのかなど、クラスター発生を受けて、特に気を付けなければならないことが何か、しっかり保護者にまで情報提供してもらえるのか。

教育政策課長：これまでに発生したクラスターは、部活動を介して感染が拡大したのではないかと考えられるものであった。そのため、部活動中・部活動前後に食事はしない、水分補給時の会話は控える、部室等の利用は短時間とする、部活が終わったらすぐに下校するなど、いわゆる「場面の切り替わり」に特に注意するよう、各県立学校及び各市町村教育委

員会に対して、細かく具体的な内容を周知徹底している。その際、御家庭に対してもしっかりと周知するよう依頼している。

河口委員：8月の感染者数がピークするとき、小学生の感染者が多い。家庭内感染や児童施設内での感染等が要因と思うが、それを完全に防ぐのはなかなか難しい。先ほど説明にもあったが、中学生・高校生の感染者数が多かったのはおそらく部活動が一因であるから、部活の中で何に注意したらよいのかなど、より具体的な内容で注意点を示してもらえると現場としては指導の基準になるので助かると思う。今回、一斉に全活動を休止というのではなく、感染状況等に応じて、できるだけ生徒に活動させてあげられるよう、段階的に対応を変えていただいたのは良かったと思う。願わくば、このまま収束してほしいが、第6波が来たときに備えて、これまでの取組を今後の対策に生かしてほしい。

教育政策課長：資料のグラフは県内の感染者数と比例している。7～8月は夏季休業期間中ではあったが、親戚の方に会うなど、普段と違う行動をする機会が多かったためかと思う。8月に高校生の感染者数が増えたのは、大規模ではなかったが、クラスターが発生したことが大きい。9月の初めに臨時休業をした学校もあったが、学校関係者の感染者数はそれ以上広がらなかった。感染力が非常に強いデルタ株が県内でも見られる中、夏休み明けに感染者数が増えなかったのは、学校内で感染が広がっていないことを示しており、各学校での徹底した対策のおかげと思う。新しい変異株についても、やはり基本的な感染対策が重要であるから、抜け目ない感染対策がなされるよう取り組んでいく。

河口委員：学校に訪問する機会があったのだが、どの学校でもしっかりと感染対策されていた。そうした取組が、感染者数の減少につながったと思う。

島委員：このまま収束することを願っているが、2～3か月先、どうなっているかは分からない。もし感染が再拡大していれば、リモートでの授業になるかと思うが、小学校1・2年生に一人で留守番させるというのは実際は難しい。そうすると保護者にも影響が出てくるが、オンライン授業をする可能性はあるか。

教育政策課長：感染状況等にもよるが、しっかりと感染対策をして、学校で授業をするのが基本的な考えになるかと思う。今回初めて、予防的分散登校を実施したように、その時・その状況に応じた対応を検討し、学びを止めないことを第一に取り組んでいく。

## 《報告事項 2 阿南光高校新野キャンパスの利活用について》

教育長 報告を求める。  
教育創生課長 内容等を報告する。

### 〈質 疑〉

河口委員：2年前に新野キャンパスを学事視察したが、研究施設が非常に充実しており、生徒も真剣に取り組んでいた。専門的な学びを深めて大学進学につなげていければ、入学者も増加するのではないか。

菊池委員：阿南光高校を学事視察した時、絶滅危惧種の花の培養に取り組んでいるという話を伺った。高校生ながらすごいことに取り組まれていると感じた。また、校舎の敷地内に温室があり、メロンが栽培されていた。ところで、これとは別の話になるが、鳴門市の島田島は過疎化が進行し、島田小学校が休校になったが、地域住民がバナナを植えて地域を盛り上げる取組をしている。そうした様々な取組をすることは、地域にとっても良いことである。また、徳島新聞には、赤いマスカットを栽培する取組が掲載されていた。高校生には難しい部分もあるのかと思うが、こういった夢のある果物を県の果樹研究所等と連携して栽培し、広報してもらいたい。

教育創生課長：阿南光高校でも、バナナやメロンなど付加価値の高い植物の栽培に取り組んでいる。また、絶滅危惧種のイシマササユリの培養にも、生徒たちが大学の先生と一緒に取り組んでいる。さらに、阿南光高校の卒業生が徳島大学生物資源産業学部に進学して、阿南光高校に来ている教員の研究室に所属し、高校に帰って、後輩たちの指導に当たっている。このような好循環も生まれつつあるので、今後とも取組を進めていきたい。

河口委員：徳島大学の常駐している先生の指導を仰ぐことができるのは素晴らしい。また、新野キャンパスの施設が非常に充実しており、専門的なことを学んでいることに感動した。これらのことや徳島大学に4名の生徒が入学していることなどをしっかり広報して、より良い高校になるように取り組んでもらいたい。阿南光高校の入学者の状況はどうか。

教育創生課長：産業創造科は定員が75名で、欠員は出ていない。

河口委員：オープンキャンパスで中学生たちに実際の学びを体験してもらおうとともに、進路状況も積極的に発信してほしい。

三木委員：卒業生が戻ってきて研究できるレンタルスペースのようなものはあるか。

教育創生課長：お話しのとおり、卒業生が戻ってきて研究に取り組み、起業したりす

るのも夢のある話である。

三木委員：間近でそのような取組を見るのも高校生たちにとって刺激になると思う。

[非公開]

《協議事項1 職員の処分について》（追加）

《協議事項2 職員（校長）の退職について》（追加）

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後3時55分